

< 柏市新型コロナウイルスワクチン接種説明会の試験問題 >

～ 誤接種等のアクシデントを防止するために ～

説明会前に、以下の文章の正誤を、○か×でお答えください。(提出不要)
説明会後に、再度お答えいただき、自己採点(10点満点)をお願いします。

- 1) ワクチン(以下すべて、コミナティ筋注)の保存方法と使用期限について
冷凍では、 $-90\sim-60^{\circ}\text{C}$ で製造日から6ヶ月間、 $-25\sim-15^{\circ}\text{C}$ では超低温冷凍庫より移した時点から14日間、冷蔵では、 $2\sim8^{\circ}\text{C}$ で超低温冷凍庫より移した時点から1ヶ月間の保存が可能だが、解凍後の再凍結は不能で、室温解凍後は2時間以内に希釈し、希釈後は6時間以内に使い切ること。
(プレ： 、ポスト：)
- 2) ワクチンの希釈充填について
バイアル内のワクチン0.45mlを1.8mlの生食で希釈し(日時をバイアルに記入)ゆっくりと転倒混和(10回反転)の後、(指で弾く等ワクチンに衝撃を与えないよう)接種用シリンジに0.3mlを吸引する。
(プレ： 、ポスト：)
- 3) 希釈したワクチンについて
冷蔵保存していれば、翌日に使用することや、バイアル内の残余ワクチンを集めて0.3mlとして使用しても差し支えない。
(プレ： 、ポスト：)
- 4) 配送業者がワクチンを届けた際の対応について
ワクチンの数量とロット番号を確認した後、冷凍庫または冷蔵庫への入庫は30分後で問題はない。
(プレ： 、ポスト：)
- 5) 予診のポイントについて
かかりつけ患者であっても、念のため本人確認と、接種回数と間隔を確認の上、予診票のうち、特にアナフィラキシー等重いアレルギー症状の既往や基礎疾患の有無、内服薬(特に抗凝固薬)をチェックして、患者の同意を得てから接種をすること。
(プレ： 、ポスト：)

6) 接種の可否判断について

基礎疾患があり主治医の記載がない場合、許可の確認できなければ接種はすべきではない。

(プレ： 、ポスト：)

7) ワクチン接種の方法について

1回0.3mlのワクチンを合計2回、通常3週間の間隔で、三角筋筋肉内に神経や血管を避けて接種し、静脈内、皮内、皮下への接種は不可である。なお、1回目から3週間を超えた場合は出来る限り速やかに2回目を実施するが、同様効果を持つ他のワクチンと混同することなく接種すること。

(プレ： 、ポスト：)

8) 接種後の経過観察時間について

接種後の経過観察は少なくとも15分間、アレルギーや基礎疾患等があり気になる患者については30分間の観察が必要で、帰宅後の体調の変化についても緊急連絡先や救急要請の仕方などを伝えておくこと。

(プレ： 、ポスト：)

9) 副反応について

アナフィラキシー（接種後数分～数時間以内に、1急速な血圧低下や意識障害、2全身の発疹や掻痒、紅斑、浮腫、3呼吸困難や気道狭窄、低酸素血症、4持続する腹痛や嘔吐、などの症状）がみられた時には、救急対応マニュアルに沿った処置（バイタルチェックと適切な体位、アドレナリン筋注と救急要請、必要に応じて心肺蘇生など）ができるよう準備を整えておく。なお、アナフィラキシーや重度の副反応については、厚生労働省、柏市保健所への報告が必要である。

(プレ： 、ポスト：)

10) 接種後の手続きについて

接種後には、接種済証の発行をし、予診票原本、コロナワクチン接種費等市町村別請求書等の書類提出、V-SYSとVRSでの登録（集団接種では柏市保健所が行う）が必要である。

(プレ： 、ポスト：)

以上、柏市新型コロナウイルスワクチン接種説明会資料、同ワクチン最新版添付文書、柏市誤接種事例、戸田市作成アクシデント事例集、等を参考に作成。